

## 第2学年 生活科学習指導案

指導者 伊藤 寛

### 1 単元名 ハートをつなごう

### 2 単元について

本教材は、学習指導要領の内容(3)「自分たちの生活は、地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着を持ち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。」(4)「公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることや、それを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。」(8)「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々と関わることの楽しさが分かり、すすんで交流できるようにする。」を受けて設定したものである。

生活科の学習は、スパイラルに発見と体験を繰り返すことが重要である。活動を繰り返したり、対象との関わりが深まったりするのに伴って、気づきが質的に高まっていくからである。身近な人々や場所と関わる活動を、計画的また組織的に行い、活動を通して地域がより一層身近になることが大切である。子どもは1学期のまち探検で身近な地域の場所を探検し、そこで生活したり働いたりしている人々と出会ったり接したりしてきている。

本単元の探検では、1学期に行ってきた「まちはたからばこ」とは異なる視点で探検することになる。これまでの探検を通して新たに生まれた児童の思いを整理しながら、さらに「仕事をしている人の思いを知る」目的で、地域に関わっていく活動を設定する。そのために、伝え合う活動を重視しながら、子どもたちの言語活動を充実させ、コミュニケーション能力を高めていきたい。そして身近な人々との関わり合いを通して、地域に対する視野を広げ、愛着を深めていきたいと考える。

指導にあたっては、「出会う」段階では、一学期の探検を思い起こし、もう一度会いたい人やもっと見てみたいこと・聞きたいことを話し合い、まち探検の計画につながるようにする。「かかわる」段階では、まち探検に行く目的を、仕事をしている人や働く場所を見ることで、その工夫や努力について、発見したり、聞き取ったりする。さらに、仕事の一部を体験したり、手伝ったりすることを通して仕事の大変さや喜び、そこで働く人の思いなどを探検カードにメモする。そして発見したことや体験したことをまとめたカードを元に、「しごとのひみつ」として、伝え合う計画を立てさせる。「深める」段階では、「しごとのひみつ」を、その人の仕事内容、努力や工夫、喜び、仕事に対する思いなどをグループで表現方法を変えて発表活動で得られた様々な気づき、地域への愛着を持つことができるようにさせたい。最後に、お世話になった人たちに感謝の気持ちを伝える方法を考え、再度発表会を開いたり手紙を書いて届けたりさせたい。

### <金銭教育に関わって>

本単元では金銭教育の目標と内容との関連が2つある。「もの」や「働いた仕事の成果」とお金は交換されることを知り、それらには価値があることを学習するので「経済や金融の仕組みに関する分野」で「経済把握」に関係している。また、働く人々のすばらしさに

気づくことや、仕事の手伝いをするという点で「キャリア教育に関する分野」の「働く意欲と職業選択」にもつながりが大きい。今回の単元では特に働く人の苦労や努力に気づくことがポイントになっている。そこで、ものや労力から「お金を得るためだけに働く」のではなく、「ほかの人に喜んでもらえるように努力して働いている」という、心情にも理解を深めることに留意していきたい。

#### <児童の実態>

男子10名、女子12名、計22名のクラスである。元気で学習に積極的で、生活科の学習にも興味と関心を持つ児童が多い。1学期には「まちはたからばこ」の単元で、地域の校区4地区の探検学習を通して、地域の自然や商店などを探検し、地域の良さや生活の関わりについて感心を持ちたり、探検から得た「お店のひみつ」を絵や文などで表したりして、グループで写真を活用して発表するなど、伝え合う学習を行ってきた。児童は探検に意欲的に取り組んでおり、2単元前の「郵便局のひみつを見つけよう」では、地域の郵便局を探検し、公共物や施設の使い方を知り、正しく利用することで、自分たちの生活を豊かにしてくれるものであり、そこで働いている人々と関わる活動を行ってきた。

まだ、自分の思いをうまく伝えられない児童もいるので、国語科との関連を図りながらペアやグループ学習で自分の考えを述べたり伝えたりすることを取り入れてきている。言語能力には個人差があるが、絵や動作にする活動は好んで行うので、イラストにして説明したり、吹き出しに言葉を入れたりして、表現させている。また本単元をとおして、ICTを活用して発表する能力を高めることにも留意したい。

### 3 単元の目標

- 学習を通してわかったことを友達や地域の人など、身近な人々と伝え合うことに関心を持ち、交流しようとしている。(関心・意欲・態度)
- 探検をとおして感じたことや思ったことを地域の人に伝える方法を考えたり、まちで見つけたことや体験したことを振り返って、工夫して適切に表現したりしている。(思考・表現)
- 地域のさまざまな人たちや施設などは、自分たちの生活とつながりがあることに気づくとともに、それらと関わりながら地域の良さにも気付いている。(気付き)
- 友達や地域の人など、身近な人々と交流することの楽しさや良さに気付いている。(気付き)

### 4 指導計画と評価計画 (全18時間)

時	目標	学習活動	評価規準	資料・主な支援
1	<出会う> ハートをつなごう (1学期の単元を思いだそう)	・ 前の探検を思い出し、会ってみたい人や、もっと見たいこと・聞きたいことを話し合う。	関(発表): 前回のまち探検について積極的に発表しようとしている。	・ 前回のまち探検の写真や地図を思い出させる。

2 3	しごとのひみつを見つける計画を立てよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>探検する場所別にグループを作り、行く目的を明確にして計画を立てる。</li> </ul>	関(カード・発表): 前回の探検とはちがう視点からカードを書こうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>見たいこと聞きたいことの相談内容を見て、不足する点を助言する。</li> </ul>
4 5 6	<かかわる> しごとのひみつを見つけよう(じっくり見よう)	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループになり、自分の会いたい人のところへ探検に行き、仕事をじっくり見る。</li> <li>新たに見つけたことをメモする。</li> <li>仕事の様子を見せてもらう。</li> </ul>	<p>関(活動観察・発表カード): 前の探検と比べながら仕事をしている人の様子をじっくりと見ようとしている。</p> <p>気(カード): 目で見ている以上に、様々な仕事があることに気付いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぜその人のところへ行ってみたいのか何を詳しく知りたいのか言えるようにさせる。</li> <li>行きたい場所ごとにグループを作る。(3~4人)</li> <li>挨拶やインタビューの仕方なども練習し、自信をもって探検できるようにする。</li> </ul>
7 8 9 10	体けんしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事の内容を見たり聞いたりする中で、自分でもできそうなことをやってみる。</li> <li>やってみて感じたことを記録する。</li> </ul>	<p>関(活動の観察): 探検に出かけたところでの体験や手伝いなどに喜んで取り組もうとしている。</p> <p>思(活動の観察): 体験した仕事の難しさ、大変さ、喜びなどをカードに表現している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい発見はその都度カードにメモさせるようにさせる。</li> <li>やった事と、やってみて感じたことを書くようにさせる。</li> </ul>
11 12 13	しごとのひみつをグループごとにまとめよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で見つけた「しごとのひみつ」を書いた探検カードの発表方法をくふうして発表し合う。</li> <li>発表内容と自分の役割を考える。</li> </ul>	気(活動の観察・カード): 仕事をしている人たちの工夫や努力、思いについて、体験をとおして気付いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな方法があることを教える。ICTなどの活用もアドバイスする。</li> </ul>

14 * 本 時 *	<深める> しごとのひみつをしょうかいしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>探検で聞いたこと見たこと体験したことを「しごとのひみつ」として発表する。</li> </ul>	<p>思(発表): 仕事の内容, 努力や工夫, 喜びなど仕事に対する思いを, 見たり・聞いたり・体験したりすることを通してわかりやすい発表をしている。</p> <p>気(発表・カード): 体験した仕事の難しさ, 大変さ, その仕事に携わる人の苦労や努力について気付いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期の探検カードを見たり, 発表を思い出したりしながら考えるようにする。</li> <li>発表の仕方の良いところにもふれるようにさせる。</li> </ul>
15	ハートをつたえよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙や招待状を書き, お世話になった方々を招待して, 発表会を開き感謝の気持ちを伝える。</li> </ul>	<p>気(活動の様子): 自分の気持ちが相手に伝わることのうれしさに気付いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちで発表した内容を元に, 感謝の気持ちを入れながら表現させる。</li> </ul>
16 17 18	みつけたよあこがれのしごと	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちには様々な仕事をしている人がいることに気付くとともに, 自分もあこがれの仕事につきたいという気持ちを持つことができる。</li> </ul>	<p>気(発表のようす): まちには, 探検で見つけたほかにも多くの仕事があることに気付いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな仕事を知っているのか, してみたい仕事は何かを聞く。</li> </ul>

#### 5 本時の活動

(1) 日 時 平成26年11月13日(木) 5校時(13:00~13:45)

(2) 場 所 2年教室

(3) 目 標

「しごとのひみつ」について, 伝えたいことの視点を明確にして発表することができる。

(4) 展 開

過程	学習活動・内容	指導上の留意点	評価 ☑は金銭教育の視点
導入	1 ある人の写真を見て, このだれかを考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が撮ったある人の写真を見せる。</li> </ul>	関(発言): だれの写真か発表させ, それぞれど

	2 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">しごとのひみつを、しょうかいしよう。</div>	この店のだれの写真か考えている。	
展 開	<p>3 自分たちで考えた伝え方で、しごとのひみつを紹介し合う。 (予定)</p> <p>①郵便局の川端下さん ②コンビニの伊東さん ③高根図書館の佐野さん ④美容室の佐々木さん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙しばい</li> <li>・ 寸劇</li> <li>・ インタビュー</li> <li>・ ICT 活用 など</li> </ul> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お店の人の仕事を監察したり、手伝ったりしての感想を入れながら発表する。</li> <li>・ 1 学期の探検と比べながら質問や感想を発表する。</li> <li>・ 仕事の苦労や喜び、仕事に対する思いなども話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どの場所にいる人か地図で知らせてから発表に入るようにさせる。</li> <li>・ 1 グループ 3・4 人</li> <li>・ みんなに知ってほしいことを分かりやすく伝えるためにどんな方法で表現するのか知らせてから発表させる。</li> <li>・ 1 グループの発表ごとに質問や感想を聞く。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 学期の探検カードを見たり、発表を思い出したりしながら考えるようにする。</li> <li>・ 発表の仕方の良いところにも触れるようにさせる。</li> </ul> <p>【視点】 しごとのひみつ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① どんなしごと</li> <li>② くろうしていることは</li> <li>③ くふうしていることは</li> <li>④ うれしいことは</li> </ol>	<p>思 (発表) : 仕事の内容、努力や工夫、喜びなど仕事に対する思いを、見たり・聞いたり・体験したりしたことを分かりやすく発表している。</p> <p>金 気 (発表・カード) : 体験した仕事の難しさ、大変さに気づき、その仕事に携わる人の苦労や努力について気付いている。</p>
	<p>4 カードに感想をまとめ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ すばらしい仕事をしている人がある自分たちの地域について、思ったことや考えたことをまとめ発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハートカードに書いた気付きを全体に紹介し、関連づけることで気付きの共有化を図るようにする。</li> </ul>	

ま と め	5活動を振り返り,自己評価する。 ・ 本時の学習の感想を発表する。 ・ 今後の学習の見通しを持つ。	・ だれがどのような仕事をしていたかを教え合うことの楽しさを確認する。 ・ 新たにそのお店の苦勞や工夫が分かったことを確認し,さらにお世話になった人に発表の様子を伝えることを知らせる。
-------------	---	---

(5) 評 価

「しごとのひみつ」について,伝えたいことの視点を明確にして発表することができる。

【指導カード】

仕事のひみつを見つけよう 2年 名前 ( )  
 ○○のしごとの ひみつ を見つけたよ  
 ○○さんのしごと

◆ どんなしごと

◆ くろう

◆ くふう

◆ うれしいことは・・・

はっぴょうを聞こう 2年 名前 ( )  
 \*メモを書こう

①あつみゆうびんきょくのしごと  
 初めて知ったこと・聞いて思ったこと

②コンビニエンスストアのしごと  
 初めて知ったこと・聞いて思ったこと

③高根図書館のしごと  
 初めて知ったこと・聞いて思ったこと

④とこやのしごと  
 初めて知ったこと・聞いて思ったこと

ハートカード 2年 名前 ( )

\*メモを書こう  
 しごとのひみつを聞いて思ったことは,

学しゅうのふりかえり

しごとのひみつをみつけたよ  
 2年 名前 ( )  
 ( ) をやってみたよ・・・  
 やってみて思ったこと

わたしはこんなしごとをしてみたいな・・・